

立西巻き



尼崎市立立花西小学校
2026.6.22 (月)

No.14

～ 校長先生つぶやき、つぶやく (校長だより) ～

【めざす教職員像】

「今日育」 私は、子ども達の今日の学びを大切にし、守り育てます。

「鏡育」 私は、研鑽に努め、子ども達の見本・手本(鑑)となり、育てます。

「協育」 私は、子ども達を愛する全ての人達と協力して、育てます。



「先生。保健室か理科室か、 どっちがいいですか。」

朝 8 時 10 分。西門近くで、子どもたちが相談にやってきました。見ると、6 年生の女の子の手のひらで、アオスジアゲハがおとなしくしています。どうやら飛べなくなってしまうようです。話し合った結果、「理科の先生に相談してみよう」ということになりました。ランドセルを背負い、急ぎ足で校舎へと向かう子どもたちの後ろ姿に、心がじんわりと温かくなりました。いや、「胸が熱くなった」という方が、その時の感情に近いかもしれません。

小さな生き物の命をなんとかしてあげたい、という優しい心をもつ子どもたちに育っていることへの喜び。そして同時に、「何か起きたら相談しよう」「先生に聞けばきっと助けてくれる」と、子どもたちから信頼され、あてにされている先生たちの姿が目についたからです。

私たち教員は、単に知識を伝えるだけの職業ではありません。高い専門性を持つ「高度専門職」として、日々子どもたちと向き合っています。とはいえ、私も含め、教員も一人の人間です。最初から完全無欠のプロフェッショナルというわけにはいきません。だからこそ、私たち立花西小学校の教職員は、以下の「めざす組織像」を心に留め、日々自分たちを磨き続けています。

【めざす組織のあり方】

1. 専門的知識・技能をもつ組織である
2. 継続的に学び続ける組織である
3. 自律的に判断し、実践している組織である
4. 協働している組織である



実際に先週も、15 日には Y 先生による「書写指導研修」、19 日には消防局の方々のご協力による「応急対応訓練研修」を実施し、組織としての指導力や危機管理能力の向上に努めました。

近頃、保護者の皆様もご存じのとおり、学校教育は複雑化しています。時に「教員がここまで担わなければならないのか」と感じる瞬間さえあります。求められる教育内容が増えたこと、本来なら家庭教育で育ててほしい力まで学校が担うことがあること、さらには学校外で起きた出来事への対応など。これらはすべて「子どものためを思うがゆえ」の動きです。「仕事だから」と言ってしまうかもしれませんが、早朝から夜遅くまで勤務し、自宅にまで仕事を持ち帰って授業準備に励んでいる先生が多くいるのが現状です。



そんな多忙な日々の中でも、アオスジアゲハの命の相談をされ、子どもたちに頼りにされたことに誇りを感じられるのは、忙しくても **研究心** **指導力** **管理・運営力** に日々磨きをかけ続けている自分たちの姿があるからこそだと確信しています。

学校教育目標

「自創協創 ～なりたい自分を創る 共に協える～」

子どもたちの未来のため、先生たちは努力し続けています。時に至らないことや、言葉足らずな部分もあるかもしれませんが、間違いなく、子どもたちを愛してやまない自慢の先生たちです。大切なお子様をお預かりしているという責任を胸に、これからも教育活動に邁進してまいります。今後とも、変わらぬご支援とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。